

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

12月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は2,521件（前月比11.7、前年同月比0.5）でした。本年の1月をピークに減少していましたが、11月より増加傾向にあります。県内多くの地域で警報レベルを超えてきています。山鹿（68.3）有明（61.4）からの報告が多いです。流行シーズンに入ったと考えられます。今後の報告数の増加が懸念されます。

小児科定点

（全体傾向）

報告数は6,206件（前月比1.51、前年同月比0.80）と前月に比し増加傾向です。インフルエンザの増加が目立ちます。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 99件（前月比0.7、前年同月比1.1）と前年同様9月をピークに減少傾向にあります。宇城（6.5）菊池（6.2）からの報告が多いです。1才未満にピークがあります。
2. 咽頭結膜熱 : 110件（前月比0.9、前年同月比0.4）で、11月から増加傾向です。菊池（10.2）からの報告が多いです。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 476件（前月比0.9、前年同月比1.8）で、例年同様、の傾向にあります。菊池（18.6）宇城（16.5）からの報告が目立ちます。4～6才にピークを認めます
4. 感染性胃腸炎 : 2,333件（前月比1.0、前年同月比1.3）で、例年通り8月以降増加傾向にあります。有明（112.0）山鹿（84.0）菊池（72.8）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
5. 水痘 : 109件（前月比1.8、前年同月比1.2）で、本年に入りほぼ横ばいですが、11月より増加しています。山鹿（4.5）からの報告が多いです。6才にピークがあります。
6. 手足口病 : 147件（前月比0.8、前年同月比0.7）で、6月をピークに減少傾向です。菊池（4.8）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
7. 伝染性紅斑 : 26件（前月比2.4、前年同月比4.3）で、昨年に引き続き少数の報告が続いていますが11月より若干増加傾向です。
8. 突発性発疹 : 108件（前月比0.7、前年同月比0.9）でした。例年と同様の傾向です。
9. ヘルパンギーナ : 49件（前月比0.5、前年同月比0.9）で、例年と同じように7～8月をピークに減少しています。
10. 流行性耳下腺炎 : 38件（前月比1.0、前年同月比1.0）で、ほぼ横ばいで低水準で推移しています。山鹿（11.5）からの報告が多いです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数62件（前月比0.7、前年同月1.2）と昨年同時期より少し増加しています。熊本59件、菊池2件、有明1件の報告です。年齢別では乳幼児から高齢者層まで広い年齢層に発症していますが、30～49歳に突出したピークが見られます。

STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：

報告数52件（前月比0.9、前年同月比1.2）で、前月比は減少、前年比は増加しています。男女別は、女性に35件と多く見られました。年齢別は、男性は20～34歳に13件と多く見られ、女性は20～29歳に26件と多く見られています。地区別は、熊本が39件と多く、次いで八代5件、御船4件、菊池、有明に各2件でした。

2. 性器ヘルペスウイルス感染症：

報告数25件（前月比1.3、前年同月比1.4）で前月比、前年比共に増加しています。男女別は、男性に16件と多く見られました。年齢別は、男性は20～34歳に10件と多く、女性は15～70歳以上と幅広く見られています。地区別は、熊本が17件と多く、次いで八代3件、宇城2件、菊池、御船、有明に各1件でした。

3. 尖圭コンジローマ：

報告数9件（前月比0.8、前年同月比1.0）で、前月比は減少、前年比では同数でした。男女別は、男性が6件と多く見られました。年齢別は、男性の30～34歳に3件と多く、女性では20～29歳に見られています。地区別は、熊本7件と多く、次いで御船、有明が各1件でした。

4. 淋菌感染症：

報告数11件（前月比0.8、前年同月比0.8）で、前月比、前年比とも減少しています。男女別は、男性に9件と多く見られました。年齢別は、男性は20～29歳に6件と多く、女性は20～24歳、30～34歳に各1件見られています。地区別は、熊本8件と多く、次いで八代、有明、宇城に各1件でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：

報告数21件（前月比 1.1、前年同月比 0.9）でした。14件（67%）が70歳以上で、0歳が1件でした。熊本市（9件、定点あたり1.8）、人吉（4件、定点あたり4.0）が多くなっています。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：

報告数6件（前月比 0.7、前年同月比 2.0）でした。前月より減りましたがまだ多めで経過しており、今後の推移に要注意です。70歳以上が3件で、小児も3件でした。有明（4件、定点あたり4.0）が多くなっています。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数0件（前月比 +0、前年同月比 +0）でした。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告数1件（前月比 +1、前年同月比 +1）でした。小児は0件です。70歳以上1件です。

2. 無菌性髄膜炎： 報告数1件（前月比 0.2、前年同月比 1.0）でした。小児は0件です。70歳以上1件です。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数2件（前月比 2.0、前年同月比 0.3）でした。熊本、八代各1件です。

4. クラミジア肺炎： 報告数0件（前月比 +0、前年同月比 +0）でした。

5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数0件（前月比 +0、前年同月比 +0）でした。例年2-5月に増加しますので今後注意が必要です。

届け出対象感染症

1類感染症	： ありませんでした	
2類感染症	： 結核	23件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	3件
4類感染症	： つつが虫病	2件
	日本紅斑熱	2件
	レジオネラ症	3件
5類感染症	： アメーバ赤痢	1件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3件
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1件
	後天性免疫不全症候群	2件
	侵襲性肺炎球菌感染症	5件
	梅毒	15件
	百日咳	3件
	風しん	5件